

**【第295号 紙面案内】**

第2～3面…理事会報告、常任理事会報告、役員・名誉会員一覧

第4～7面…第72回全国研究大会関連

第8～10面…部会報告、各種連絡

**第72回全国大会統一論題解題**

大会実行委員長 大杉 奉代（香川大学）

第72回全国研究大会は、10月23日（金曜日）、24日（土曜日）、25日（日曜日）の3日間、「産学連携のマネジメント」を統一論題に、香川大学幸町キャンパスにおいて開催されます。

「産学連携のマネジメント」という統一論題は、これまで学会の統一論題で、地域企業、企業家精神、イノベーションといった内容を最近取り上げてきた流れを反映したものです。企業は、規模の大小を問わず、単体で事業を展開するだけでなく、他の組織体との関係を形成しながら行動することが多くなってきました。特に地方創生という最近の情勢、さらに新たなベンチャー創出の機運を考えると、本学会が目指す実・学一体という特色を生かす時代でもあると考えます。

産学連携は、産（企業側）から学（大学等の研究・教育機関側）との連携の意味、効果を考える場合と、学から連携の意味や効果を考える事も出来ます。しかし、ここでは、産の側、学の側でもなく、連携それ自体が独自の意味と効果を持つことに注目する点が看過されてはなりません。企業の側では、オープンイノベーション思考の浸透により、新たなベンチャー企業の創出を、大学等では大学発ベンチャーの創出を推し進めてきました。そして、産学連携における連携そのものの主体性、組織化がNPOという連携機構、新たな事業体を生み出しています。学の所有する知的財産と産の持っている経営資源、モノづくり能力、マーケティング能力などを有効に結びつけるマネジメント力が産（企業側）、学（大学等の研究・教育機関側）に求められるのです。

そこで、第72回全国研究大会の特別講演では、国内カタログ通販の草分け的な存在であり業界第3位の売上を誇っている株式会社ディノス・セシールの上田昌孝氏を招聘し、経営や経営実践の在り方や考え方についてと、産学連携についてのお考えをお話いただきます。

我々、大会実行委員一同、これらさまざまな工夫も盛り込みながら鋭意準備して参りますので、多くの皆さまのお越しを心より、お待ち申し上げます。

なお、この時期の高松は、紅葉が色づく観光シーズンです。ご参加の皆さまには、ぜひ早めのご旅行の手配をお願い致します。

**理事会報告**

**日 時** 平成27年 7 月11日(土)  
**場 所** 東洋大学 2 号館第一会議室  
**議 題**

- (1) 第 72 回全国研究大会について  
第 72 回全国研究大会（香川大学・幸町キャンパス：平成27年10月23日～25日）の準備状況についての説明があった。
- (2) 学会新体制の承認について
  - ① 15名の常任理事が承認された。
  - ② 3名の理事を追加することが報告され、承認された。
  - ③ 会計監事 2 名が承認された。
  - ④ 本部幹事 7 名が承認された。
- (3) 会員の入退会の承認について  
入会（個人 7 名）、退会（個人 1 名）が承認され、合計（個人661名、法人 5 社）となったことが報告された（平成27年 7 月11日現在）。
- (4) その他  
第 73 回全国研究大会が駒澤大学で開催される見込みであることが報告された。日程等については、後日会報に掲載される予定である。

**常任理事会報告**

**日 時** 平成27年 8 月29日(金)  
**場 所** 東洋大学 白山キャンパス 8 号館中 2 階第 2 会議室  
**議 題**

- (1) 第 72 回全国研究大会について  
第 72 回全国研究大会（香川大学・幸町キャンパス：平成27年10月23日～25日）の準備状況についての説明があった。
- (2) 会員の入退会の承認について  
入会（個人 4 名）、退会（個人 1 名）が承認され、合計（個人664名、法人 5 社）となったことが報告された（平成27年 8 月29日現在）。
- (3) その他  
第 73 回全国研究大会が駒澤大学にて平成28年 6 月17日(金)～平成28年 6 月19日(日)の日程で開催される見込みであることが報告された。

## 日本マネジメント学会役員・名誉会員一覧

(任期：自平成27年7月1日 至平成30年6月30日)

平成27年8月31日現在

(五十音順)

会 長	柿崎洋一			
副 会 長	松本芳男	佐々木利廣		
名誉会員	森本三男			
顧 問	梅沢 正	菊池敏夫	河野重榮	小林規威
	斎藤毅憲	酒井勝男	酒井 甫	高松和男
	筒井清子	富田忠義	西澤 脩	平田光弘
	逸見純昌	増田茂樹	三浦康彦	
理 事	青淵正幸*	市古 勲	大杉奉代	大野和巳*
	大平義隆	小沢一郎*	小野瀬拡	柿崎洋一*
	亀川雅人*	木村敏夫	櫻井克彦	櫻澤 仁*
	佐々木利廣*	佐藤一義*	篠原 淳	杉田あけみ
	杉田 博	鈴木岩行*	武市顕義*	辻村宏和
	董 晶輝*	當間政義	中村公一*	藤木善夫
	細萱伸子*	間嶋 崇	松本芳男*	村井 淳
	文載 皓*			
	(*は常任理事)			
会計監事	小椋康宏	加藤茂夫		
本部幹事	小野瀬拡	清水健太	須田敏子	當間政義
	堀越 勝	間嶋 崇	山中伸彦	
事務局長	武市顕義			

## 日本マネジメント学会第72回全国研究大会プログラム

### 統一論題 産学連携のマネジメント

会場：香川大学幸町キャンパス

参加費 6,000円(当日6,500円)、懇親会費 5,000(当日5,500円)、院生は参加費 3,000円(当日3,500円)

#### 第1日 2015年10月23日(金)

- 13:45 企業見学 (アオイ電子株式会社) 現地集合  
香川県高松市香西南町 455-1
- 17:00 理事会 (香川大学 又信記念館 3階第1会議室)

#### 第2日 2015年10月24日(土)

- 9:30 ~ 16:00 受付【1号館1階】
- 10:00 ~ 10:05 開会挨拶 第72回全国研究大会実行委員会委員長 大杉奉代  
会長挨拶 日本マネジメント学会会長 柿崎洋一

#### 産学シンポジウム1 1号館21講義室

(報告者30分、各予定討論者15分、討議70分 計130分)

10:10 ~ 12:30	産学シンポジウム1 【産学連携のマネジメントと地域活性化(仮題)】
報告者	坂井貴之氏(株式会社テクノネットワーク四国 代表取締役社長)
予定討論者	戸前壽夫氏(岡山大学)
予定討論者	東俊之氏(金沢工業大学)
コーディネーター	大平義隆氏(北海学園大学)
コーディネーター	櫻澤仁氏(文京学院大学)

- 12:30 ~ 13:30 昼食

#### 産学シンポジウム2 1号館21講義室

(報告者30分、各予定討論者15分、討議70分 計130分)

13:30 ~ 15:40	産学シンポジウム2 【産学連携のマネジメントとベンチャー(仮題)】
報告者	中住慎一氏(株式会社アドメテック 代表取締役社長)
予定討論者	櫻井敬三氏(日本経済大学大学院)
予定討論者	中野剛治氏(東洋大学)
コーディネーター	加藤茂夫氏(専修大学)
コーディネーター	佐藤一義氏(立正大学)

## 特別報告

1号館 21 講義室

15:50 ~ 16:30	特別報告
報告者	河野重榮氏 (獨協大学)
テーマ	山城学説の展望とその後の展開
司会者	小椋康宏氏 (東洋大学)

## 記念講演

1号館 21 講義室

16:40 ~ 17:40	記念講演
講演者	上田昌孝氏 (株式会社ディノス・セシール相談役)
テーマ	人材開発と企業の競争力
司会者	大杉奉代氏 (香川大学)

18:00 ~

懇親会

## 第3日 2015年10月25日(日)

9:00 ~ 12:00 受付

産学シンポジウム 3

1号館 21 講義室

(報告者30分、予定討論者15分、討議45分 計90分)

9:20 ~ 10:50	産学シンポジウム 3 【産学連携のマネジメント原理 (仮題)】
報告者	三宅徹氏 (株式会社未来機械 代表取締役社長)
予定討論者	瀬戸正則氏 (広島経済大学)
司会者	櫻井克彦氏 (東海学園大学)

## 自由論題報告 1

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

10:55 ~ 11:35	A会場 1号館12講義室	B会場 1号館13講義室	C会場 1号館23講義室	D会場 1号館24講義室
報告者	山口裕之氏 (東洋大学)	俞成華氏 (中国福建工程学院)	三宅章介氏 (東海学園大学) 大鹿哲郎氏 (名古屋大学大学院)	細萱伸子氏(上智大学) 新井範子氏(上智大学) 竹内明日香氏(上智大学) 大内章子氏(関西学院大学)
テーマ	組み込みシステムの肥大化と開発組織	日本企業の国際人的資源マネジメント—南アフリカにおける日系4社の事例を中心に	我が国におけるキャリア教育の導入と社会との連携についての考察—特に、勤労観・職業観育成の観点より—	高学歴専門職女性のキャリア中断変更と子育て負担
コメンテーター	梶玉充氏 (日本大学)	木村有里氏 (杏林大学)	杉田あけみ氏 (千葉経済大学短期大学部)	田口智子氏 (北翔大学短期大学部)
司会者	羽田明浩氏 (国際医療福祉大学)	辻村宏和氏 (中部大学)	上野哲郎氏 (和光大学)	速水智子氏 (中京大学)

11:35 ~ 12:25

昼食 1号館 11講義室 大学内生協

## 自由論題報告 2

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

12:25 ~ 13:05	A会場 1号館12講義室	B会場 1号館13講義室	C会場 1号館23講義室	D会場 1号館24講義室
報告者	梅木眞氏 (流通経済大学)	フンディンチョン氏 (和光大学)	佐藤聡彦氏 (明治大学大学院)	石井清香氏 (立教大学大学院)
テーマ	制度への戦略的適応、 選択及び変革のマネジ メント	ベトナム企業のコーポ レート・ガバナンスに 関する一研究—日本企 業の実態調査との比較 において	石坂泰三と土光敏夫の 事業哲学の探求	女性の管理職登用を阻 む要因—日米人事制度 の観点からの考察—
コメン テーター	佐々木利廣氏 (京都産業大学)	加藤里美氏 (愛知工業大学)	杉田博氏 (石巻専修大学)	池田玲子氏 (羽衣国際大学)
司会者	日野隆生氏 (東京富士大学)	篠原淳氏 (熊本学園大学)	大平浩二氏 (明治学院大学)	市古勲氏 (東海学園大学)

## 自由論題報告 3

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

13:10 ~ 13:50	A会場 1号館12講義室	B会場 1号館13講義室	C会場 1号館23講義室	D会場 1号館24講義室
報告者		石毛昭範氏 (拓殖大学)	早坂明彦氏 (聖徳大学)	河野律子氏 (埼玉県庁)
テーマ		経営者にとってのワー クルール教育のあり方	男性社員のワークライ フバランスについて	農業者における戦略的 意思決定
コメン テーター		樋口弘夫氏 (和光大学)	小原久美子氏 (県立広島大学)	細野賢治氏 (広島大学)
司会者		岡部勝成氏 (日本文理大学)	郭智雄氏 (九州産業大学)	楨谷正人氏 (摂南大学)

## 自由論題報告 4

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

13:55 ~ 14:35	A会場 1号館12講義室	B会場 1号館13講義室	C会場 1号館23講義室	D会場 1号館24講義室
報告者	相原章氏 (成城大学)	朱亮氏 (東洋大学大学院)	芳賀英明氏 (東京経営短期大学)	藤井辰朗氏 (中部大学)
テーマ	労働対価情報による行 動変容の検証：「社会規 範」行動と「市場規範」 行動	ファーストリテイリン グ経営者・柳井正によ る経営戦略の形成に関 する研究—DC 戦略論 を実現したドラッカー 経営論—	準拠集団が自己とブラ ンドの結びつきに及ぼ す影響—活性化された 自己を取り込んだマー ケティング・コミュニ ケーションへの戦略的 適応	研究開発効率に関する 一考察
コメン テーター	粟屋仁美氏 (敬愛大学)	松藤賢二郎氏 (福岡工業大学)	大野和巳氏 (文京学院大学)	木村敏夫氏 (流通科学大学)
司会者	川野祐二氏 (下関市立大学)	仁平晶文氏 (千葉経済大学)	田中雅子氏 (帝塚山大学)	大東正虎氏 (岡山商科大学)

14:35

閉 会

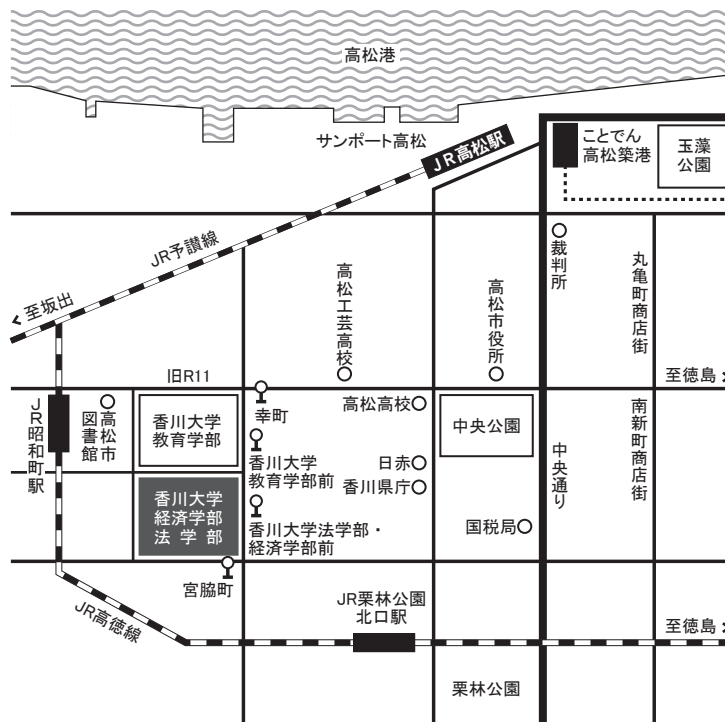
## 第72回全国研究大会開催校案内 香川大学・大学紹介

香川大学は、昭和24年に新制国立大学として発足し、その後、旧香川大学と旧香川医科大学の統合、国立大学法人化を経て、現在、6学部13学科、8大学院研究科、2専門職大学院を擁する総合大学として、学術文化の発展に寄与して参りました。

特に、2004年4月の国立大学法人化以降、香川大学が目標としてきた「地域に根ざした学生中心の大学」実現のため、実学を重んじる校風を培ってきた伝統を活かして、地域社会のさまざまな分野でリーダーとして活躍できる人材の育成に積極的に取り組んでおります。

今回の第72回全国研究大会を開催致します幸町キャンパスには、経済学部、法学部や教育学部などが所在しております。

香川大学経済学部は、四国で唯一の国立大学経済学部であり、前身の「官立高等商業学校」として1923年に日本で12番目に創立されました。2013年には、90周年を迎え、その間2万5千人以上の有為な人材を輩出してきました。本学会の創設者でもある故山城章先生が卒業された本校において開催できることを光栄に思っております。



- JR高松駅から  
徒歩で約20分、車で約5分（タクシーでは「香川大学経済学部正門前まで」とお伝えください）
- 高松空港から  
タクシーで約30分  
「高松空港リムジンバス」で「県庁通り」下車。徒歩10分（香川県庁の高い建物を目印に西にお進みください）

## ◇◇北海道・東北部会からのお知らせ(報告者募集)◇◇

北海道・東北部会長 大平 義隆 (北海学園大学)

下記の通り、平成27年度北海道・東北部会を開催いたします。つきましては、報告者を募集いたしますので、ご希望の方は杉田までご連絡ください。締め切りは10月10日(土)といたします。ご応募をお待ちしております。

日 時：平成27年12月12日(土) 午後

場 所：宮城県内

問い合わせ先：副部会長 杉田 博 (0225-22-7716 / hsugita@isenshu-u.ac.jp)

## ◇◇関東部会からのお知らせ(報告者募集)◇◇

関東部会長 佐藤 一義 (立正大学)

第2回関東部会は12月19日(土)13:00より立正大学で開催される予定です。報告プログラムにつきましては、次回会報および学会ホームページに掲載します。ご参加のほど、よろしくお願ひします。また関東部会では随時報告者を募集しております。

問い合わせ先 佐藤 一義 (sato@ris.ac.jp)

## ◇◇中部部会からのお知らせ(開催報告/報告者の募集)◇◇

藤木 善夫 (東海学園大学)

平成27年6月27日(土)14時00分より、第51回中部部会が東海学園大学栄サテライトにおいて経営哲学学会、経営行動研究学会との3学会合同で30名の参加者を得て開催された。

第1報告は、今井範行氏(名城大学)による「予算スラックの順機能性に関する一考察—トヨタ的業績管理会計の要諦—」、司会・コメンテーターは小田切純子氏(滋賀大学)であった。今井氏は、組織スラック概念を管理会計的に展開する予算スラック理論から予算編成における逆機能を、トヨタ的業績管理会計を事例に順機能性について考察された。

第2報告は、三宅章介氏(東海学園大学)による「我が国におけるキャリア教育の導入と社会の連携についての一考察—特に勤労観・職業観育成の観点より—」、司会・コメンテーターは寺澤朝子氏(中部大学)であった。三宅氏は、アメリカと日本のキャリア教育の違いから、日本のキャリア教育が仕事に対する価値観の育成に偏る傾向があり、望ましい職業観・勤労観はすべて自己のための「職業意識・勤労意識」であると述べられた。更にインターンシップや出口指導中心の大学のキャリア教育の現状への疑問に言及された。

第3報告は、吉田修氏(愛知産業大学)による「経営哲学を巡る旅—経営主体の批判的認識論の可能性—」、司会・コメンテーターは厚東偉介氏(中京学院大学)であった。吉田氏は、松下幸之助氏の人生哲学・経営理念を哲学的に研究した経験から、その研究手順・作業の例を紹介し研究成果と残された問題点について報告された。



それぞれの報告終了後には活発な質疑応答がなされ、引き続き、堀田部会長を議長として次回開催校等に関する議事が審議された。

報告会終了後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中、会員間の交流が深められた。

\* \* \*

第52回中部部会は平成27年11月14日(土)に東海学園大学栄サテライトで実施予定です。詳細は決まり次第連絡いたします。奮ってご参加ください。

なお中部部会事務局では、随時報告募集を行っております。報告を希望される方は

藤木善夫(東海学園大学 〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞 21-233

TEL;0561-36-5555, fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp)までお知らせください。

## ◇◇関西部会からのお知らせ(報告者の募集)◇◇

関西部会長 佐々木利廣

平成27年度第2回関西部会を以下の日程で開催予定です。現在報告者を募集しております。報告を希望される方は、報告タイトル等(仮題でも結構です)を10月末までに下記の幹事あるいは佐々木まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお関西部会では随時報告者を募集しております。

記

1. 日 時：平成27年12月5日(土) 午後1:30分から
2. 場 所：認定特定非営利活動法人 大阪NPOセンター  
〒541-0046 大阪市中央区平野町1-7-1 堺筋高橋ビル5F
3. その他(報告の応募先)  
部会会長 佐々木利廣(京都産業大学) E-mail: sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp  
部会幹事 堀野互求(大阪NPOセンター) E-mail: i1351029@cc.kyoto-su.ac.jp  
以上

## ◇◇中国・九州部会報告者募集のお知らせ◇◇

中国・九州部会長 篠原 淳(熊本学園大学)

平成27年度第1回中国・九州部会の開催に向けて調整中です。  
つきましては会員皆様からの報告者を募集します。報告を希望される方は下記までご連絡下さい。

<連絡先> 篠原 淳(熊本学園大学) (shinohara@bird.ocn.ne.jp)  
※かならず、お名前、ご所属、論題をお知らせください。

## ◇◇韓国経営教育学会への派遣報告者の募集◇◇

韓国経営教育学会（Korea Association of Business Education）との「報告者交換プログラム」に基づき、派遣報告者を下記のように募集します。報告テーマは「経営教育」に関連する内容であることが要求されますので、応募にあたりご留意下さい。

応募者が多数の場合は、国際委員会で選考します。

派遣先：2015年韓国経営教育学会秋季大会  
(2015年11月21日土曜日、KAIST、大田市)

応募資格：本学会員（大学院生を除く）

応募方法：氏名、所属、報告テーマ、報告要旨（日本語300字以上）を郵送またはメールで学会事務局に送付

締切日：2015年10月8日(木)

その他：派遣報告者には旅費補助として5万円を支給

## 平成27年度会費未納の方は至急納入して下さい！！

平成27年度会費の未納者及び平成26年度会費未納の方はそれも含めて、至急納入して下さい。

年度会費の支払期限は6月30日ですが、現時点で支払われていない方が沢山います。

前回の7月度会報にてお願いし、加えて会長文書（平成27年度会費の納入状況及び未納者への会費納入のお願いについて）を7月度会報に同封し、未納の方々には至急送金して頂くようお願いをしておりますが、その後も会費納入状況は遅々として改善しておりません。学会の財源は、会員の皆様方の会費のみと言っても過言ではありませんので、会費納入のご協力を切にお願い申し上げます。

会費の納入方法は次のいずれかです。なお、会費は10,000円（大学院生6,000円）です。

①郵便振込の場合（会報に同封の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。）

口座番号：00150-7-535064

②銀行振込の場合

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

### 編集後記

この295号より新しい会報委員会による発行となりました。皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。10月23日から香川大学で大会が開催されます。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

鈴木岩行（会報委員会委員長）、小野瀬拓（副委員長）

発行 日本マネジメント学会  
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36  
S&Sビルディング3F  
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）  
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: http://www.nippon-management.jp/  
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp